

個人投資家向け会社説明会



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード：3386)

2023.5.26

www.cosmobio.com



はじめに・・・

コスモ・バイオと聞いてどういうイメージを持ちますか？

バイオの研究して
いるんでしょ

コスモって、
石油の？

何の薬を開発して
いるのかな

ノーベル賞銘柄だよ

バイオなのに
配当している

全然聞いたことない
会社

バイオベンチャー

安定した良い会社

ライフサイエンス（生命科学）の
研究に使用する**試薬や機器**、または**サービス**を
提供する事業を行っています。

目的・理念

生命科学の進歩に資する

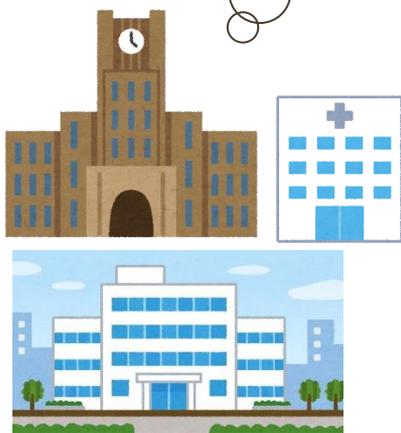
この目的のために、人材がコスモ・バイオには
集まっています。

コスモ・バイオの役割



研究の様子

よくイメージする
バイオの仕事をする人
ですが、
コスモ・バイオは
ちょっと違い・・・



大学、企業等の研究室

研究（実験）に
必要な研究用試
薬、機器・器材、
消耗品など

マイクロウェルプレート



チューブ



チューブ、
保温ブロック



ピペット、
チップ



超音波破碎装置



試薬（単品、キット品）

これらを提供するのが、私たちです

本日の内容

- ①
- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立40年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
 - ✓ **研究用の試薬・機器**などを販売しています
 - ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です

- ②
- ✓ 2006年からは、試薬の自社**製造**も開始しました
 - ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

- ③
- ✓ 商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます

- ④
- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
 - ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します
 - ✓ 上場来、毎年配当しています（株主優待はありません）

本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立40年の
主力の「商社事業」について 専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です

①

- ✓ 2006年からは「メーカー機能」について
- ✓ 2016年からは 戦っています

②

- ✓ 商社を軸に、新 成長戦略について

③

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上 業績・配当について に貢献します
- ✓ 上場来、毎年配当していきま (株主優待はありません)

④

社名： コスモ・バイオ株式会社

本社所在地： 東京都江東区東陽二丁目2番20号

代表者： 代表取締役社長 櫻井 治久

設立： 1983年8月25日

事業内容： ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、
臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売

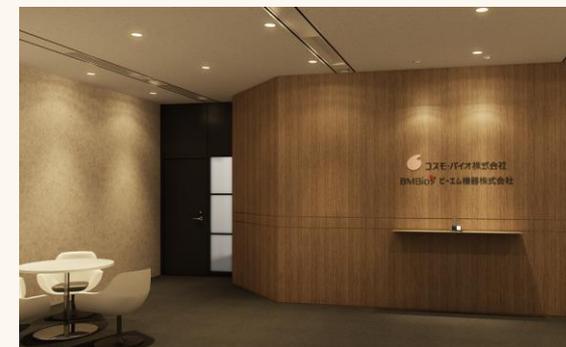
従業員数： 連結：146名 個別：115名

（2022年12月31日時点）

連結子会社： ビーエム機器株式会社

COSMO BIO USA, INC.

非連結子会社： 株式会社プロテインテック・ジャパン



コスモ・バイオの沿革

1978年

丸善石油（現 コスモ石油）でバイオ事業を開始

1983年

丸善石油の子会社として「丸善石油バイオケミカル」を設立

1986年

社名を「コスモ・バイオ」に変更

2000年

MBOによりコスモ石油から独立

2004年

「COSMO BIO USA」を設立

2005年

ジャスダック市場に上場（現：東証スタンダード市場）

2006年

「プライマリーセル」を子会社化

2010年

「ビーエム機器」を子会社化

2013年

物流センターを移転・拡張

「プライマリーセル」を吸収合併（現 札幌事業部）

2016年

「プロテインテック・ジャパン」を設立

ペプチド受託製造

鶏卵BR研究

2017年

札幌事業所を開設

製造機能

何を誰に売っている商社ですか？

何を：

ライフサイエンス研究に使われる「試薬」や「機器・器材・消耗品」、試験を請け負う受託サービスなど



試薬って、なに？

誰に：

教育機関（大学等）、公的研究機関、企業
など

これらの研究機関で、基礎研究を行う研究室の研究者が主な顧客

－ 試薬とは －

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質や、生物の体内から取り出した成分
(タンパク質や細胞、核酸等)、それを反応させるための
溶液など

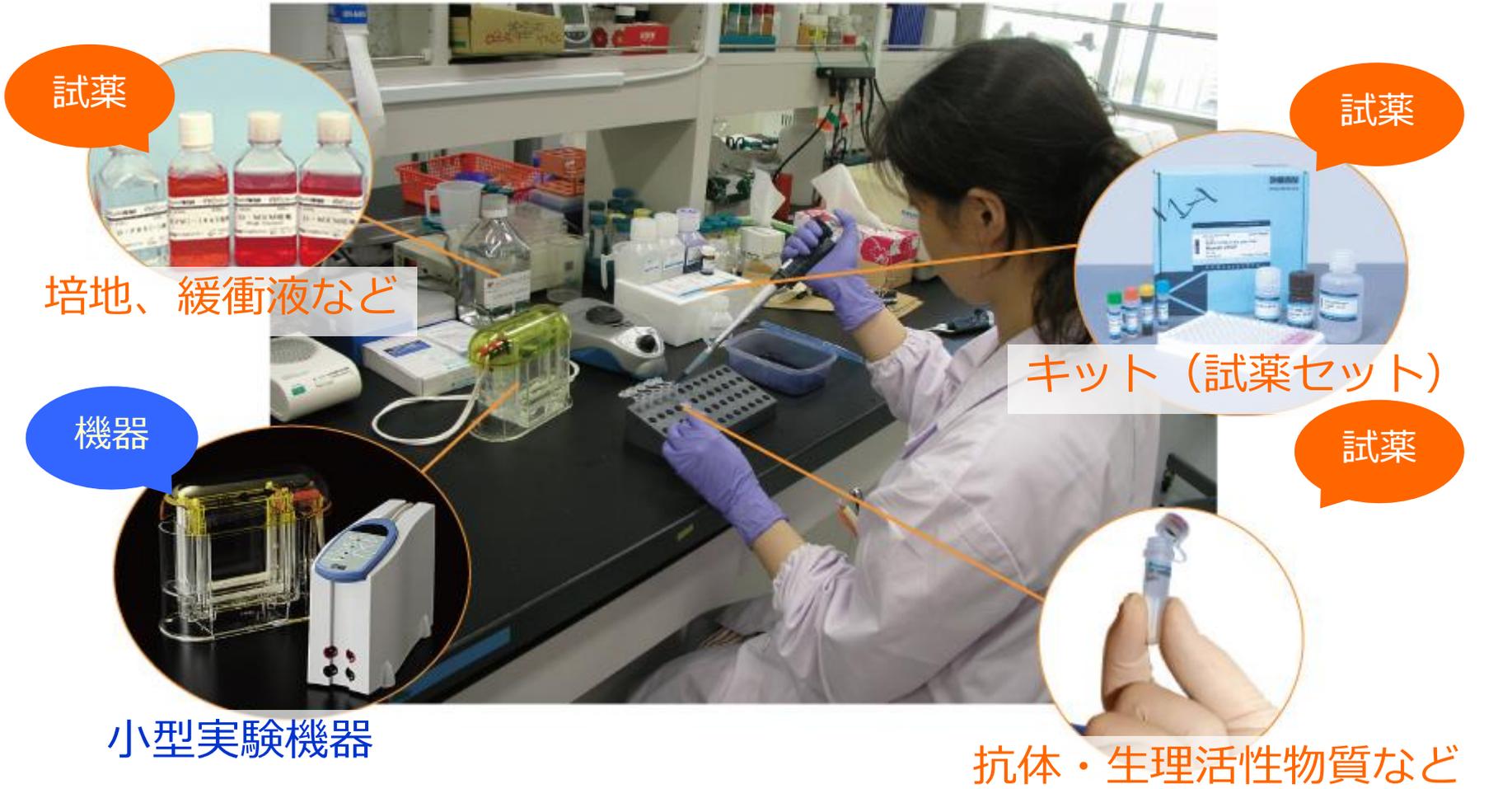


なかでも・・・**ライフサイエンス (生化学用) 試薬**は、
・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
・数10マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
(体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる)

《試薬の分類イメージ》



試薬・機器が使われている様子



試薬

試薬

培地、緩衝液など

機器

キット (試薬セット)

試薬

小型実験機器

抗体・生理活性物質など

－機器・器材・消耗品とは－

研究用機器とは？

PCR装置をはじめとするさまざまな
化学物質・生体成分等を測定する機器

マイクロウェルプレート



チューブ



器材・消耗品とは？

液体を分注するためのピペットや、
液体を混合するための道具、
実験で使い捨てて使用する実験用
手袋、マスク、プレート、
チップ など



ピペット、
チップ

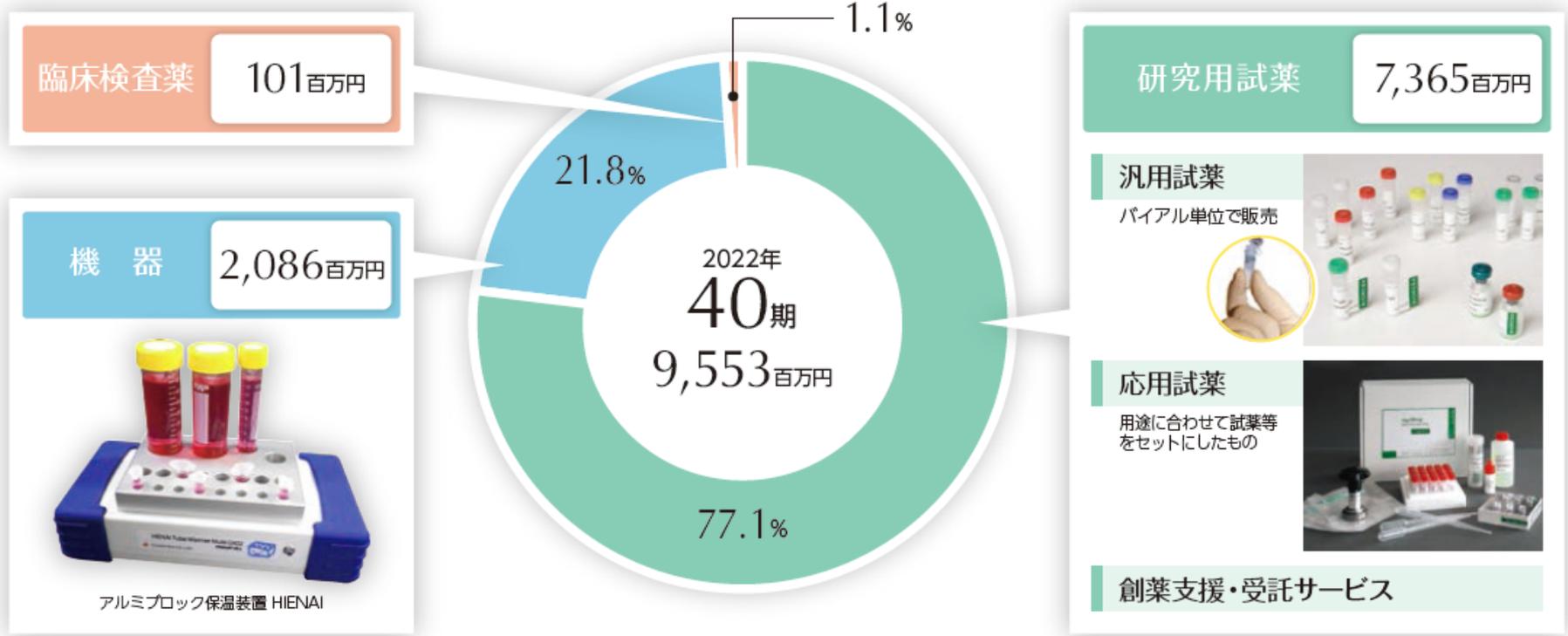
チューブ、
保温ブロック



超音波破碎装置

商品分類別の売上構成（連結ベース）

商品分類別連結売上高

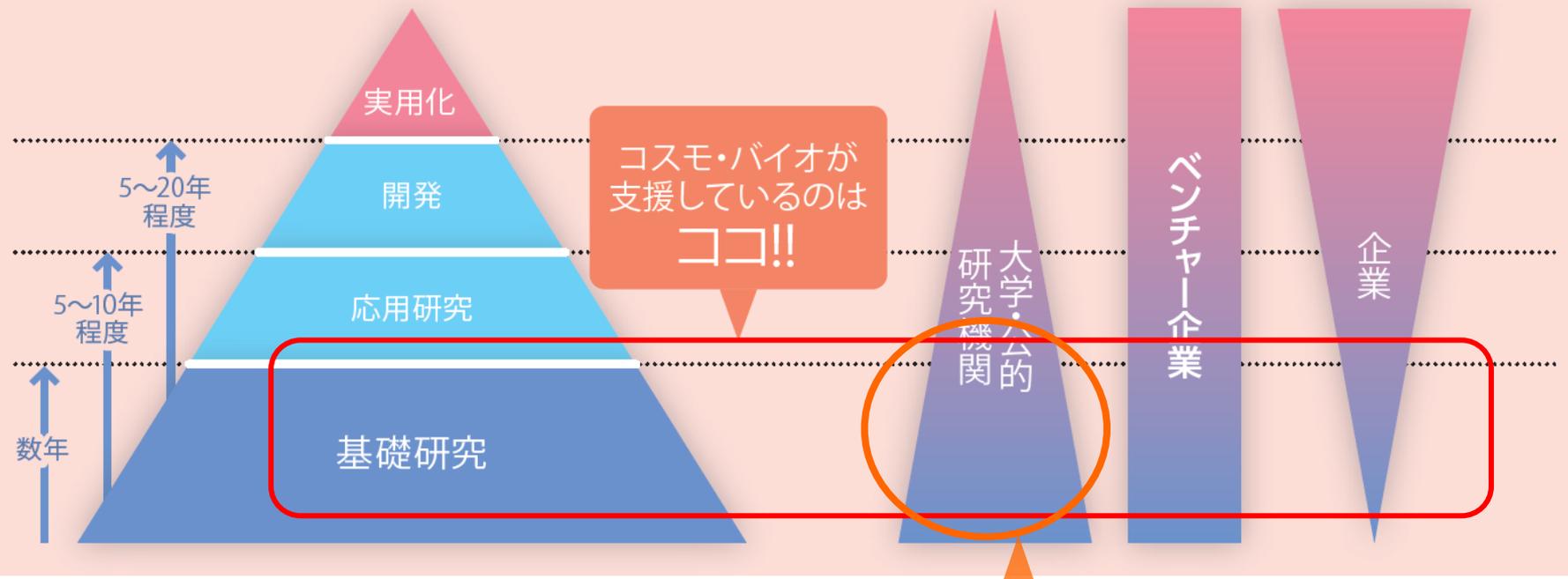


**研究用試薬の売上が8割弱、
機器（器材・消耗品含む）の売上が2割強の比率**

生命科学研究とユーザー層

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでにはとても長い年月がかかっています。
 コスモ・バイオは、その研究の第一歩である、
「基礎研究」を行う研究者向けに、研究用試薬や機器を販売しています。

研究費用は
政府予算が中心



圧倒的な品揃え ～コスモ・バイオの“頼りがい”の基礎～



世界中から**約1,200万品**の
品揃え（約**600**サプライヤー）



常に最先端の試薬を導入し続けて
います。
商品で充足できないニーズには、
受託サービスを提供。

◎豊富な品揃え、その理由は・・・

基礎研究では、

- ・膨大な基礎研究&一人ひとり異なる実験
- ・多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

どんな研究もサポート
できるよう、取り扱い
試薬はとてまたくさん！

商品情報の管理・発信

◎ 1千万品を超える商品の情報を的確に管理し、発信します



商品情報／検索システム

名	種由来 (免疫動物)	メーカー	品番	包装	希望販売価格(¥)
文産性	クローン	カタログ掲載情報	複製度	在庫 (入荷予定)	
通用			毒劇	保存	
phospho Tyr536, - (Rabbit) 新品	CAC	TNL-002-SH2	100 UL	40000	
	-	-	Serum	無(無)	
	WB/ IHC/ IP		-	-20℃	
(Rabbit) 新品	CAC	TNL-002-SH1	100 UL	40000	
	-	-	Serum	無(無)	
	WB/ IHC/ IP		-	-20℃	
Anti CAMKII, - (Mouse) 新品	CAC	TNL-001-CAM	100 UL	40000	
	18		Asc	無(無)	
	-	-	-	-20℃	



学会・展示会



ニュースレター



カタログ類

たくさんの商品から、どうやって選ぶの？

◎ 仕入先のシーズをデータベース化し、
研究者にとって有用な商品情報をタイムリーにお届け

[ニーズとシーズのマッチング]

技術はあるけれど
営業力が…
宣伝費もない…

何かいい試薬が
ないかな…



コスモ・バイオグループ

商品を一社一社から探す
時間があつたら
実験したい…



商品仕入れ・商品管理のノウハウ

◎ ライフサイエンス用試薬ならではの、
煩雑な輸入手続き、保管・管理手続き

煩雑って、
どうして？

特別な保管が
必要？

試薬とは：

化学物質や、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）など。 だから・・・



- 毒劇物など危険物質が入っている場合
→ 法令で取り扱いが厳しく定められている
- 動物由来成分が入っている場合
→ 動物検疫をうける対象となる



- 危険物質は法令に沿った管理が必要
- ナマモノだから、温度管理が厳重（4℃、-20℃、-70℃・・・）



本日の内容

①

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立40年の
バイオ(ライフサイエンス)の専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
- 「メーカー機能」について 研究機関、製薬企業等の研究者です

②

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
- ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

③

- ✓ 商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます

④

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します
- ✓ 上場来、毎年配当しています(株主優待はありません)

コスモ・バイオの沿革

1983年

丸善石油（現 コスモ石油）の子会社として設立

2000年

コスモ石油から独立

商社事業の
始まり

2005年

ジャスダック市場に上場

2006年

(株) プライマリーセルを子会社化

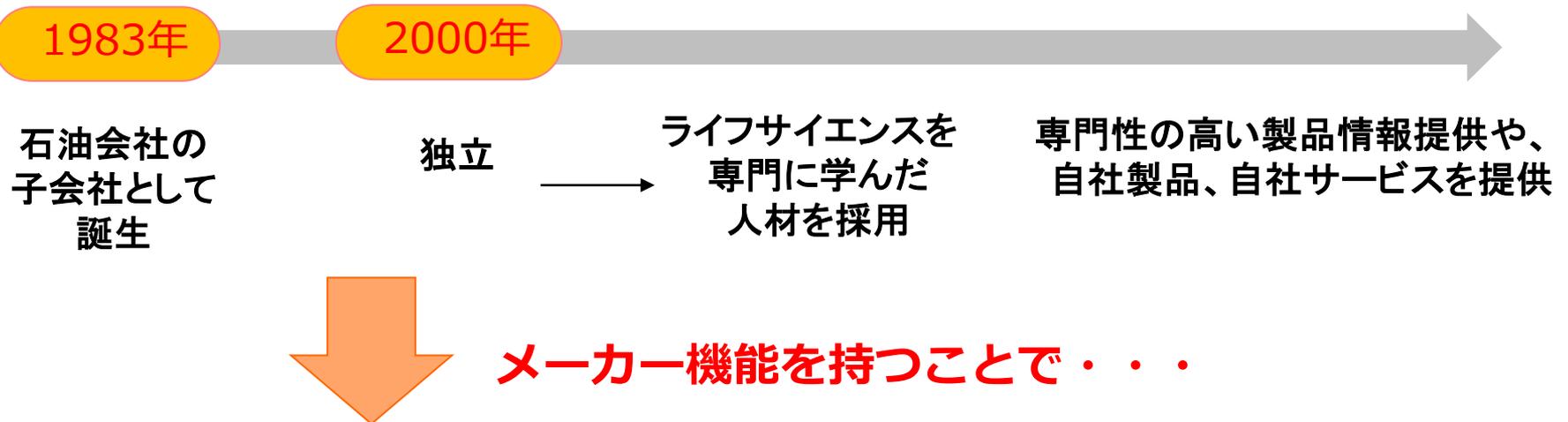
メーカー
機能の獲得

2017年

札幌事業所を開設

なぜ商社がメーカー機能を？

【当社の変遷】

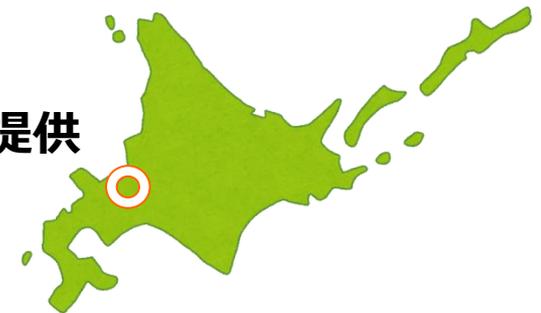


ソリューションの提供

- 市場にない（付加価値の高い）研究用試薬を製造して提供
- 自社技術を用いた受託試験サービスを提供

会社の成長・挑戦

- 自社製造のため為替に左右されず利益が安定
- 新たな事業領域を獲得し、事業規模を拡大



2017年10月 札幌事業所稼働
 今後のさらなる事業の拡大に備えるため、開発・製造拠点の統合・拡張を実施。

商社事業を主軸に、メーカー機能を取り入れ

- ✓ 商社事業を軸に、2006年から**メーカー機能**を取り入れて自社製品・サービスの開発、新規事業に取り組んでいます
- ✓ 開発・製造拠点は北海道小樽市 **(札幌事業所)** です
- ✓ 札幌事業所で行っている事業は、大きく分けて次の3つです
 - ① 初代細胞ほか試薬製造・受託試験
 - ② カスタムペプチド合成&抗体作製
 - ③ ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造
(鶏卵バイオリクター事業)



札幌事業所の外観

メーカー機能を持ってやりたいこと

◎ 商社事業に加え、ライフサイエンスの進歩・発展に役立つために・・・

<p>① 初代細胞ほか試薬製造・受託試験</p>	<p>市場にない試薬・サービスを提供する ⇒ 研究用試薬、サービスの充実</p>
<p>② カスタムペプチド合成&抗体作製</p>	<p>研究用の提供もありつつ、原料としての提供など、研究用から一歩踏み出した製造・サービス</p>
<p>③ ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造 (鶏卵バイオリアクター事業)</p>	<p>研究用試薬ではなく、原料供給を主な目的とした製造</p>

研究用試薬だけでなく、原料としての製造など、ライフサイエンスをもっと広くサポートするべく、新たな技術を導入していきます。

初代培養細胞ほか、研究用試薬

初代培養細胞とは

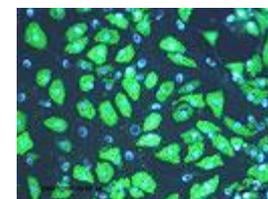
生体から分離した細胞を培養し、第1回目の継代を行うまでの細胞。

細胞は継代を繰り返すことでその性質が変化することがあるため、初代培養細胞（プライマリーセル）を用いることで、より実際の細胞に近い状態で実験することができる。



たとえば、薬剤の研究開発等に使われます

《製造品目》



脂肪細胞と専用培地

カスタムペプチド合成&抗体作製

何を作っているの？

- 研究者の要望にあった配列のペプチドをカスタム合成
- このペプチドを材料（抗原）とした、抗体作製の受託サービスもあわせて展開



ペプチド合成装置



【ペプチドの役割の例】



ペプチドを使った
基礎研究



薬効のある
ペプチドの探索



ペプチドを抗原とした
抗体作製

機能性ペプチド
(機能性食品、
抗菌ペプチド)

新薬
(ペプチド医薬品)

新規治療法
(ワクチン)

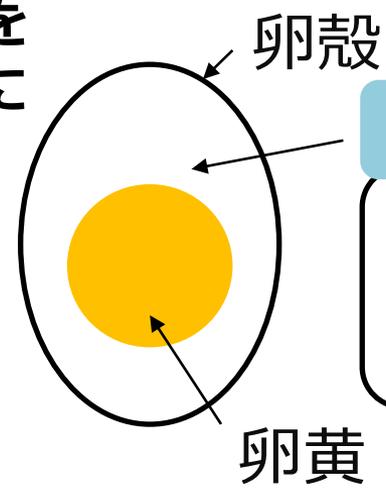
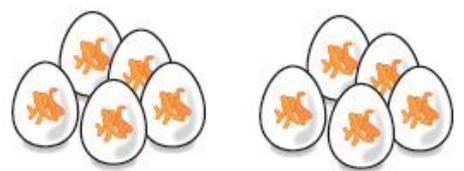
私たちの生活レベルの向上に貢献！

ゲノム編集ニワトリを用いたタンパク質製造

～目的とするタンパク質を、安く大量につくる～

◎鶏卵バイオリクターを用いたタンパク質製造

ゲノム編集によりニワトリを
改変し、たまごの卵白部分に
有用タンパク質を大量に
含んだ**たまご**を生ませる
技術



卵白	
オボアルブミン	2.2g
オボトランスフェリン	0.5g
オボムコイド	0.5g
リゾチーム	0.15g

ゲノム編集して、
オボアルブミンの
代わりに
有用タンパク質を
作る

本日の内容

- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立40年の
バイオ（ライフサイエンス）の専門商社です
- ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です

①

- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
成長戦略について 外の新規分野にも挑戦しています

②

- ✓ 商社を軸に、新規事業開拓に取り組んでいます

③

- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
- ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します
- ✓ 上場来、毎年配当しています（株主優待はありません）

④

3ヶ年計画（2023年-2025年）

本3ヶ年計画から、グループ全体での
取り組みとして、グループ計画としています。

グループの目的

生命科学の進歩に資する

グループ長期戦略

新たな成長の柱となる製品・
サービスの創出

輸出事業を含む海外展開拡大

ライフサイエンスを軸に、
研究用以外の市場への進出

安定した持続的成長の実現

グループ会社間のシナジー強化

新たな事業基盤の創出

新規事業の開拓

資本提携・業務提携への取り組み

商社機能の強化
(提案力・情報力・商品力)

製造機能の強化

顧客情報管理とその活用

原料供給ビジネスの売上拡大

流通改革対策

輸出の強化

新商品・受託サービスの拡充

抗体・ペプチド合成受託事業、鶏卵バイオリアクター事業の成長・収益加速

企業価値の向上

生産性の向上と効率化 (収益力の向上)

サステナビリティの取り組みの推進

人事制度・人材育成

本日の内容

- ①
- ✓ コスモ・バイオは、今年で設立40年の
バイオ(ライフサイエンス)の専門商社です
 - ✓ 研究用の試薬・機器などを販売しています
 - ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です

- ②
- ✓ 2006年からは、試薬の自社製造も開始しました
 - ✓ 2016年からは、試薬以外の新規分野にも挑戦しています

③

業績・配当について 海外市場の拡大に取り組んでいます

- ④
- ✓ 会社設立以来、黒字経営です
 - ✓ 輸入商品が売上の多くを占め、円高だと利益に貢献します
 - ✓ 上場来、毎年配当しています(株主優待はありません)

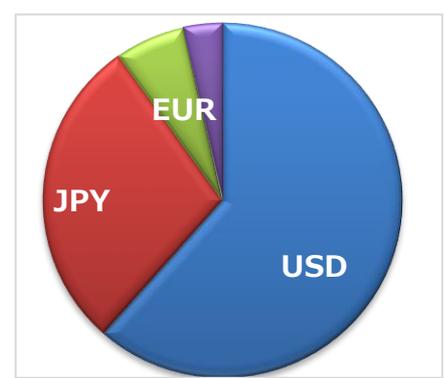
為替変動による事業環境の変化

平均為替レートの推移 (円/ドル)

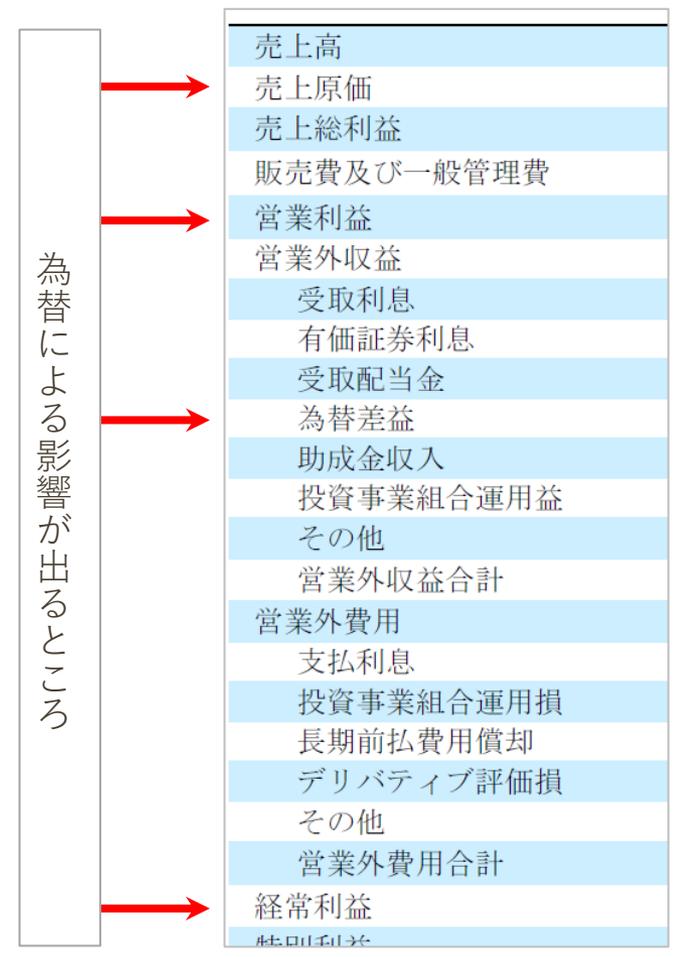
2019年	2020年	2021年	2022年	2023年 (計画)
109円	107円	108円	128円	140円

円安による利益への影響（利益減）に対しては、売上を伸ばす、一部為替予約、輸出の強化、コスト削減、商品代へ一部転嫁させていただくこと等により、対策していきます。

【2022年通貨別仕入】

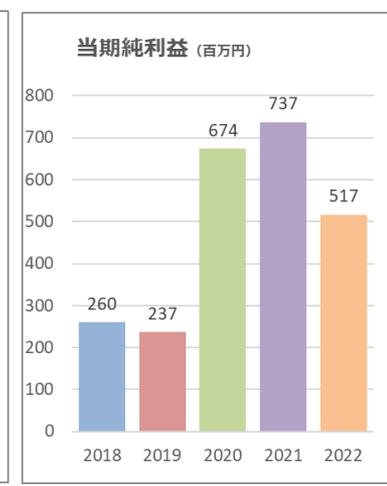
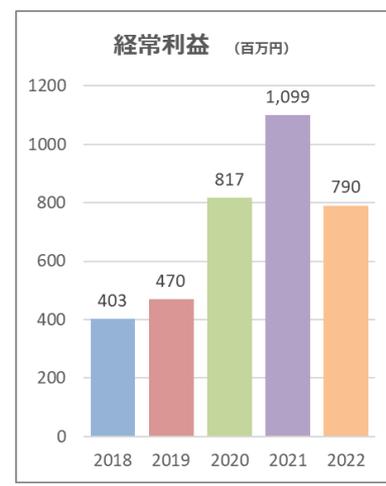
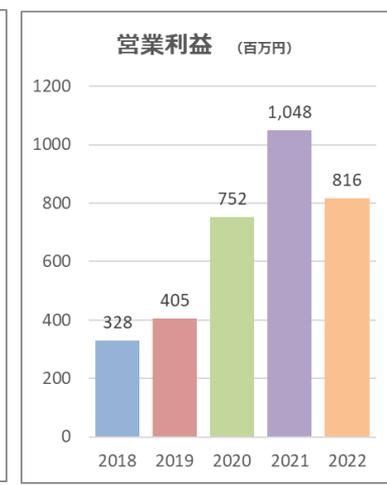
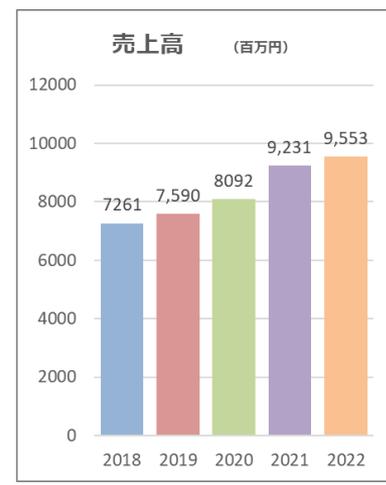


決算短信より



2022年12月期 連結業績ハイライト

連 結	売上高	9,553百万円	(前年同期比 3.5%増)	→
	営業利益	816百万円	(前年同期比 22.2%減)	→
	経常利益	790百万円	(前年同期比 28.1%減)	→
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	517百万円	(前年同期比 29.8%減)	→



主な要因

- ・全般的に試薬販売が堅調に推移
- ・特に海外輸出が好調となった
- ・為替レートは、前年度年間平均で108円のところ、当期年間平均は128円で推移

通期業績見通し

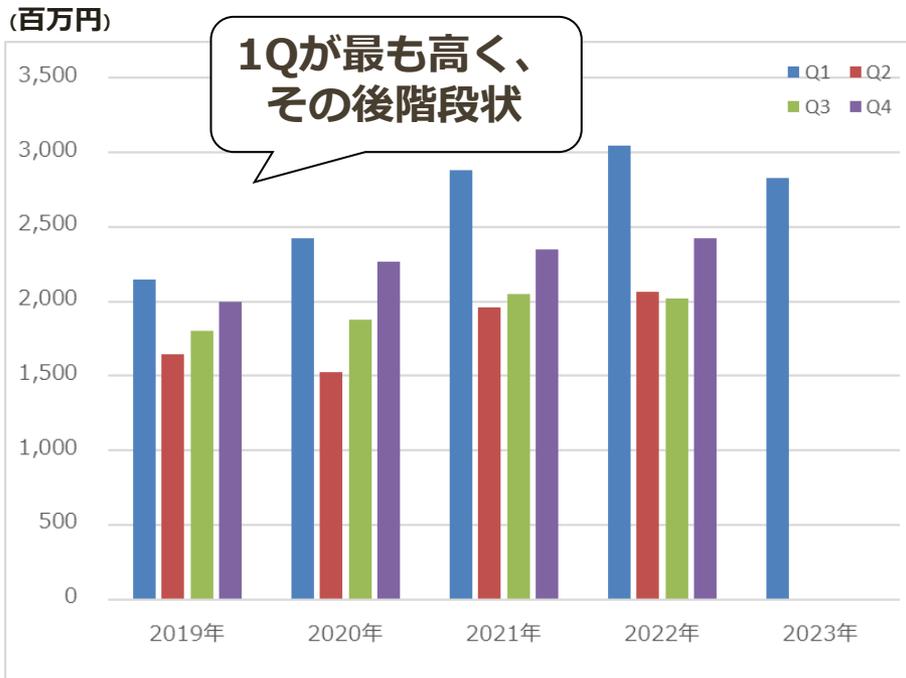
(金額単位：百万円)

	22/12月期 2Q実績	23/12月期 2Q予想	対前年 同期比	22/12月期 通期実績	23/12月期 通期予想	対前年 同期比	(参考) 23/12月期 1Q実績
売上高	5,111	5,200	1.7 %	9,553	9,800	2.6 %	2,828
営業利益	626	440	△29.7 %	816	600	△26.5 %	400
経常利益	620	490	△21.0 %	790	660	△16.5 %	416
親会社株主 に帰属する 当期純利益	407	330	△19.0 %	517	450	△13.0 %	264

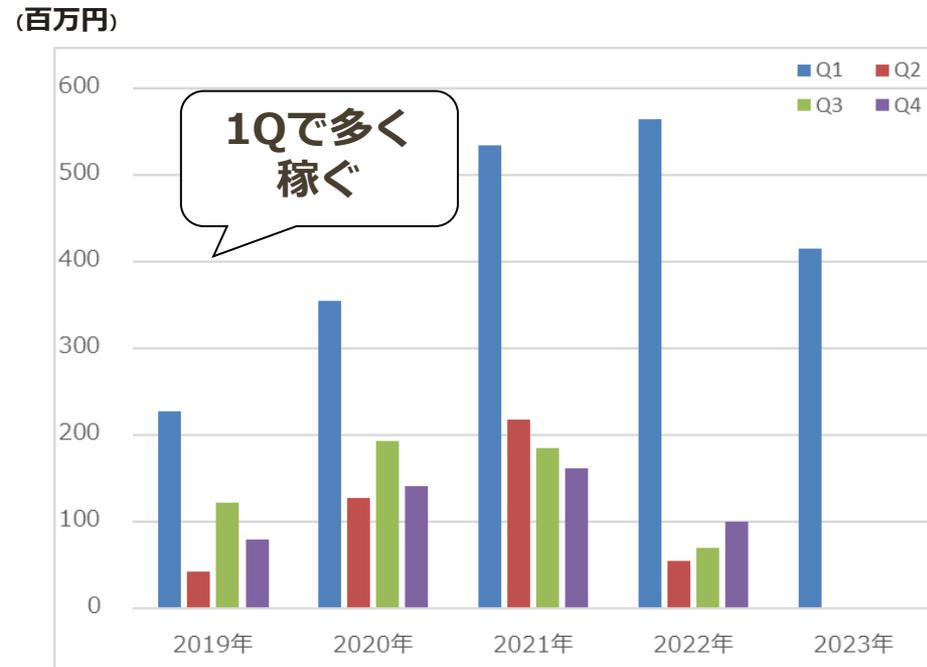
平均為替レート	22/12月期 実績	23/12月期 予想	23/12期 1Q実績
円/USドル	128円	140円	134円

四半期別動向（売上高、経常利益）

売上高



経常利益



【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

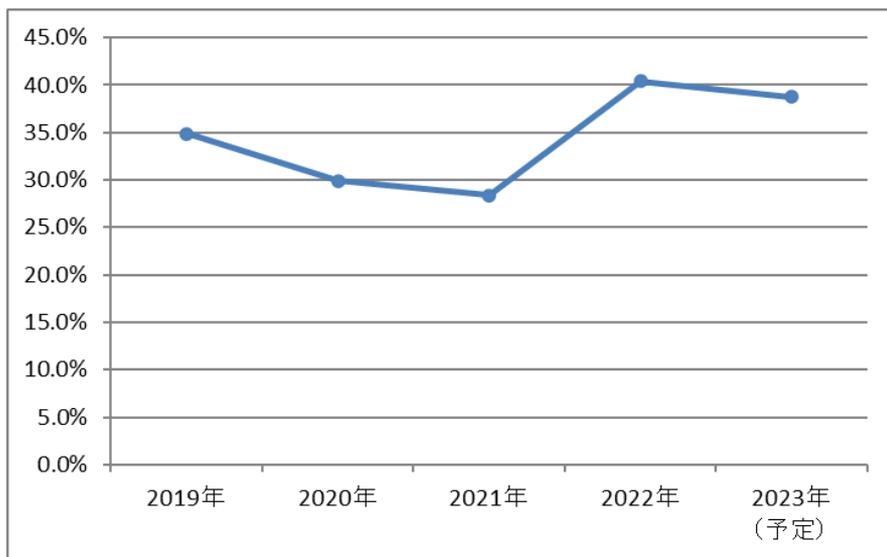
【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

※2023年1Qの実績では、売上高は一昨年並み、為替の影響により経常利益は前年比で減少

配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2021年 12月期	12円	24円	36円
2022年 12月期	16円	20円	36円
2023年 12月期	14円 (予定)	16円 (予定)	30円 (予定)

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



SDGsへの取り組み例

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一行きたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『ボランティア活動』

災害復興を目的としたボランティア活動を希望する従業員の支援を行っています。



『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加された
チームの一例】



『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



コーポレートサイトのご案内

<https://www.cosmobio.com>

2020年11月に、
企業サイト・IRサイトを
リニューアルしました。



PC用



スマホ用

<https://www.cosmobio.com>



コスモ・バイオについてわかりやすく説明した「早わかり」を掲載



サステナビリティのコンテンツを新設



ライフサイエンスの最新技術を紹介



人と科学のステキな未来へ コスモ・バイオ株式会社

《IRに関するお問い合わせ先》

コスモ・バイオ株式会社 総務部

ir-contact@cosmobio.co.jp

《当社IRサイト》

<https://www.cosmobio.com/jp/ir/>

